



明峰

令和7年12月8日

第19号

校長 岡野利男



美術同好会の12月の
力作です。
毎月、素敵な生徒会
掲示板に感謝ですね。

「25対23」でありたい

女子バレー部が市中総体新人戦において第3位となり県大会出場を決めました。応援しながら、思ったことがあります。(勿論、門外漢の私は、プレーのことは全く分かりません…。)

予選リーグの試合の2セット目において、本校バレーボール部は、対戦相手に1点も与えない【25-0】のバーフェクトな戦いぶりを残しました。すごいですね。なかなか達成できることではありません。

一方、準々決勝の2セット目は、【27—25】の大接戦でした。これもまた、すごい!!監督の立場からすればヒヤヒヤでしょうが、価値あるゲームです。

さて、スポーツの話から離れます。人の一生において【25-0】の人生を送る人はおそらくいません。先述の「思ったこと」というのはこのことです。一度も失敗・ミス・負けのない人生を送る人などいないはずです。そして、それは学校生活であっても同じことが言えます。たくさん失敗をして、数えきれないほどミスもして、何度も何度も叱られた場面があったけど…。それでも、最後には、【25-23】で“いい学級”だったな、“いい一年間”だったなって思えばそれでいいのではないかと思うのです。

順風満帆な航海よりも、波高き海の航海の方が達成感は大きい。立ちはだかる荒波に、船を転覆させない術は、船の舳先を真っすぐに波に向けることただ一つだと言います。多くのミスも、何度も負けも味わいながら、それでも【25-23】を目指し、決して逃げることなく正面から、令和7年度の終盤戦に臨もうと思っています。

11月30日の長崎新聞

この日の長崎新聞は、明峰中学校の名前が3か所に…!!

1つ目は、前日29日に九州中総体駅伝競技で見事な活躍を果たした明峰中チームの健闘を称える記事。(当日は、40名近くの一般生徒の応援がありました。嬉しかったです。)2つ目は、同じく29日に長崎市で開かれた全日本サッカー森保監督の講演を聞いた1年3組森山さんのインタビューコメント。そして、3つ目は下の記事。3年2組伊藤さんの作文コンクール受賞、おめでとうございます!!

伊藤さん(明峰中3年)本県1位

生命保険作文コンクール

「文化センター」をテーマに生徒活動文化センター（東京）が公募した中学生作文コンクールで、諏訪市立明誠中の年の伊藤義典君が入賞しましたが東京へ贈られました。

